

令和4年度 放課後等デイサービスピュアピーす 自己評価

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入	改善目標、工夫している点など	備考
体 環 境 整 備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	○				・曜日によって年齢毎に活動が分かれている。	※指導訓練室：フロア
	②	職員の配置数は適切であるか。		○			・もう少しアクティブな活動時には人数が必要。 ・送迎の範囲が広く、送迎時等に職員が少ない。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。		○			・雪の状況でスロープが閉鎖されることがある。 ・和室のみ段差があるが、出入り口やフロア、キッチン、トイレは平坦なので適切と言っても良いと感じる。	
業 務 改 善	④	業務改善を進めるため職員間で課題を抽出し、解決に向けて取組み、振返りをしているか。	○					
	⑤	保護者向け評価表を活用したアンケート調査実施などで、保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○					
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	○					
	⑦	第三者評価 ※を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○		※現在検討中。	※第三者評価 公正・中立な第三者評価機関が、専門的かつ客観的に、事業者が提供する福祉サービスの質を評価。受審については任意。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○					

## 適切な支援の提供

⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	○					
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○					
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				・ミーティングで行えている。	
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○					
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題を決めて細やかに設定して支援しているか。	○					
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか。	○					
⑮	その日の支援を開始する前に職員間で必ず打ち合わせをし、支援の内容や役割分担について確認しているか。		○			・外出時などは必ず行っている。	
⑯	支援終了後には、その日行われた支援を振り返り、気付いた点等を共有しているか。	○				・毎日行うことは送迎等もあるため難しいが、できない時はミーティングで行っている。	
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○					
⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか。	○					

	①9	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○					※基本的活動とは 自立支援と日常生活の旬日のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供
	②0	「個別支援計画」「障がいへの理解」「障害児支援」等に関する研修を実施・参加しているか。	○					
関係機関や保護者との連携	②1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した者が参画しているか。	○					
	②2	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○					
	②3	就学前の様子を保護者・関係機関との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○					
	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、必要時それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○					
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関等の研修を受けているか。	○					柿が丘学園・RISE・JOIN 長岡療育園等
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか。	○					・大積児童館を利用している児童や丘陵公園に遊びに来ている児童達と一緒に遊ぶ機会があった。

	⑳ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		○				※協議会とは？ 「長岡市障害者自立支援協議会の構成」参照
	㉑ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○					
	㉒ 支援の観点から、保護者に対して助言・指導等の支援を行っているか。	○					
保護者への説明責任等	㉓ 運営規程、支援の内容、利用者負担額などについて丁寧な説明を行っているか。	○					
	㉔ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○					
	㉕ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することより、保護者同士の連携を支援しているか。	○					※父母の会 ママランチ会、親父の会等
	㉖ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○					
	㉗ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○					
	㉘ 個人情報に十分注意しているか。	○					
	㉙ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮をしているか。	○					・イラストや写真を用いたりして意思疎通ができるようにしている。
	㉚ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	○					

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル策定し、職員や保護者に周知しているか。	○					
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○					・ 避難訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○					
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	○					・ 対象となる児童がいない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○					・ 指示書を持っている児童がいない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○					